

AV ニュース エクスプレス

平成 13 年度「全国自作視聴覚教材コンクール」に 125 作品が応募
NTT-ME が学校と家庭をインターネットで結ぶサービス「Net-Teacher」を開始
JAPET「平成 13 年度情報教育対応教員全国セミナー（岐阜会場）」開催
「第 45 回日本紹介映画・ビデオコンクール」開催
「スクールサウンドフェスタ 2001」作品募集中
「第 2 回手づくり紙芝居コンクール」

協会情報

■平成 13 年度「全国自作視聴覚教材コンクール」に 125 作品が応募

日本視聴覚教育協会主催による標記コンクールの参加作品数は 125 作品にのぼった。内訳は以下の通り。

小学校部門（幼稚園を含む）	46 作品
中学校部門	14 作品
高等学校部門	4 作品
社会教育部門	34 作品
郷土学習教材部門	27 作品
参加種別 = ビデオ	82 作品、
スライド	12 作品、
TP3 作品、	CD-ROM
23 作品、紙しばい	4 作品、
セット教材（ビデオ・	CD-ROM）
1 作品	

AV 情報

■NTT-ME が学校と家庭をインターネットで結ぶサービス「Net-Teacher」を開始

（株）エヌ・ティ・ティエムイー（NTT-ME）は、学校と保護者間の情報連絡や、教師から生徒への宿題の提示、生徒からの回答、採点までをインターネットを通じ、簡単な操作で一元的に実施可能な、学校向けおよび保護者向けの ASP（application service provider）サービス「Net-Teacher」を開始した。本サービスの提供にあたっては、インターネット上で運営している学習塾「ネット先生」（<http://www.net-teacher.co.jp/>）を管理している（株）大磯教育研究会と、ASP 事業やアプリケーション開発・サーバ管理事業などを手がける（株）エス・エフ・シーが、学校ごとのデータベース管理について協力する。

最初のサービス提供先として、神奈川県横浜市の学校法人武相学園の運営する武相中学校（校長：井上正靖、生徒数：265 名、教職員数：23 名）が、全生徒および教職員を対象に導入する。NTT-ME では、サービスの提供にあたり、パソコン等のインターネット環境が無い家庭等の、インターネット接続環境構築までトータルにサポートする。（NTT-ME 東京都千代田区大手町 2-2-2 電話 0120-089312 <http://www.ntt-me.co.jp>）

研究会情報

■JAPET「平成 13 年度情報教育対応教員全国セミナー（岐阜会場）」開催

（社）教育工学振興会（JAPET）では、「目でみる 21 世紀の学校 IT 革命 情報共有で、

ブックレビュー



「放送学研究 50」

日本放送協会・放送文化研究所編
丸善 2001年6月刊
A5判 183頁 1,800円(税別)

NHK放送文化研究所編集の本誌が50号を迎えた。所外の専門家をも執筆陣に加え、市販形式をとる等、開かれた形で刊行されている。放送を軸としてメディアの諸問題に関する学術誌である。

本号は「メディア変容の時代と放送」を特集テーマとし、かつ40年の歩みを総括すべく、総目次と座談会を掲載している。

巻頭論文は小林宏一「メディア変容と既存マスメディアの役割」である。著者は、20世紀末のメディア論を展開するなかで、メディアのあり方を「政策(主体) 技術(者集団) メディア事業(者) 日常生活(者)」の「いわば 四位一体 構造」ととらえ、文化のあり方も、文化の創造あるいは享受に関わる者たちのあり方もその枠組みで

とらえられている、とみる。そして今日急速に進行しつつあるデジタル技術の革新によって形成されている新たなメディア環境の性格とその方向をそこに探ろう、とする。

結論的に言えば、1980年代以降、次々と新しいメディアが登場し、すでにインターネットの発展によって、コミュニケーションの世界も大きく変化したかに見える。しかし、インターネットの世界でも、どうやらメディア「文化」の根底は変化していないのではなからうか。つまり「作り手・送り手 受け手」という構造に大きな変化はないとみている。

他にドイツ放送法制(鈴木秀美)、BBCの戦略(越川洋)の論編がある。

(高桑 康雄)

こども・教師・家庭の心をつなぐ」をテーマに、岐阜大学教育学部附属小中学校において標記セミナーを開催する。同校は、1年間で職員室のペーパーレスを実現。さらに校内LANとグループウェアとインターネットで、生徒・教師・父兄が情報共有。21世紀の学校運営の考え方とその実際を明らかにする。

1. 日時

2001年9月29日(土)午前10時40分～午後5時

2. 参加対象者

学校長、教頭、教員、教育委員会指導主事(定員500名)

3. 資料代 2,000円

4. 内容

公開授業＝全教科でのネットワークを活用した授業公開など
基調講演＝「なぜインターネットと校内LANを活用するのか～」赤堀侃司氏(東京工業大

学教育工学開発センター教授)

講演＝「ITで学校が変わる」井上志朗氏(岐阜大学教育学部附属中学校副校長)

ITの活用についてのブース方式の発表内容＝ペーパーレス会議、家庭との連携・生徒指導、グループウェアの活用など

5. 問い合わせ

(社)日本教育工学振興会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1 視聴覚ビル 電話03-5251-0751 セミナー案内
<http://www.koryosha.co.jp/seminar>

コンクール情報

■「第45回日本紹介映画・ビデオコンクール」開催

(財)日本映画海外普及協会、(社)映像文化製作者連盟主催による標記コンクールは「日本の姿を海外に紹介する優秀な短

編映画及びビデオの選奨」を目的として下記の要領で開催される。なお、受賞作品は11月下旬に発表、表彰式・発表会は12月を予定している。

1. 参加部門

(1)日本の文化・芸術に関するもの(2)日本の科学技術・産業・社会一般に関するもの

2. 参加条件

60分以内。2000年10月1日～2001年9月30日までに完成した作品。1社3本まで。

3. 申込締め切り

2001年10月1日(月)

4. 問い合わせ

(社)映像文化製作者連盟
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1 視聴覚ビル 電話03-3501-0236

■「スクールサウンドフェスタ2001」作品募集中

ブックレビュー



『人文社会科学とコンピュータ』
 杉田米行編
 成文社 2001年5月刊
 A5判 256頁 2,200円(税別)

近年、コンピュータとインターネットの普及は目覚ましいものがある。しかし、あふれる情報の中で、必要な信頼できる情報をいかに手に入れ、自分の仕事や教養を高めるために有効利用できるかが重要である。

本書は、情報社会に積極的に参画し、自分を高めようという人に薦めたい本である。

全部で14章からなり、インターネット活用のための基礎知識、インターネットを利用した英語上達法、インターネットの学術利用、社会生活におけるインターネットの活用、と大きく4部の構成になっている。

14名の執筆者は、バラエティに富んだバックグラウンドを持ち、それぞれの立場でインターネットを日々道具として活用されている方々である。それだけに、情

報収集の仕方、情報の整理の仕方、発信、コミュニケーションの取り方等の記述に説得力がある。

何の肩書きもない市民が、インターネットを駆使し、研究論文を発表する道も開けていることを事例を通して紹介している。

「日本人は、情報を受け取り、それを自分の中に蓄積していく学習には慣れていない。しかし、その蓄積したものをうまく生かしていない。表現ができていない。」という指摘は、当たっている。また、「本当の教養とは、事実をさまざまな観点から見て、討論し、新しい理論を自ら発表していく技能である。」と断言しているが、総合的な学習の時間等で身につけていく力と合致している。これからの教育のあり方を考える上でも参考になろう。(暮沼 猛)

現代教育新聞社が主催する標記フェスタでは、「つくろう、ひろげよう、もっと楽しい音の世界」をキーワードに、音楽教育の実践を皆の共有財産とするための場として、教職員、小学生・中学生からの作品を募集している。

1. 応募資格

小学生・中学生の部(必ずグループで応募)/教職員の部(個人、団体を問わず)

2. 応募作品

小学生・中学生の部=各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間でパソコンや楽器・機器、インターネット等のメディアを利用し、音楽や映像で表現した作品。

教職員の部=コンピュータ及びコンピュータ・ミュージック・システムや電子楽器などを用いた指導実践研究。

3. 応募期間

2001年6月1日(金)~11月20日(火)(必着)

4. 賞

両部門通じて「スクールサウンドフェスタ大賞」1点、他「プロセス賞」「アカデミック賞」「オリジナル賞」など(予定)

5. 問い合わせ

現代教育新聞社 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町19-30 桜箱崎町ビル
 スクールサウンドフェスタ2001事務局 電話03-5645-5311
<http://www.gendai-edu.com>

紙芝居の質的向上を目指し、人間としての豊かな感性を育むことを目的に次の要領で開催する。

1. 規定

応募資格は、幼稚園児から成人までのアマチュア/上映時間は10分以内/部門はジュニアと一般の2部門/個人でも共同制作でも可で、応募は2点以内

2. 賞

各部門に大賞、優秀賞、他

3. 募集締切

9月19日(水)

4. 問い合わせ

神奈川県立図書館視聴覚部業務課 電話045-241-3131

各地の情報

■「第2回手づくり紙芝居コンクール」

手づくり紙芝居コンクール実行委員会では、創造性に富んだ手づくりの紙芝居の奨励・普及、

訃報

元毎日映画社社長、映画評論家の草壁久四郎氏は、8月19日、心不全のため逝去された。享年81歳。